

平成21年度「はまっこ」「まつっこ」「まなびっこ」教室

今年も浜松市教育委員会の委託を受けて、日本語教室「はまっこ」、母国語教室「まつっこ」、外国人対象の学習支援が以下の会場で行われています。

「はまっこ」	小学生・・・元城小、遠州浜小、砂丘小、萩丘小、瑞穂小、浜名小（児童 147名 スタッフ 42名） 中学生・・・元城小、江南中、浜名高（生徒 52名 スタッフ 18名）
「まつっこ」	ポルトガル語教室：佐鳴台集会場、クリエイティブ浜松（児童 179名 スタッフ 4名） スペイン語教室：なゆた浜北（児童 44名 スタッフ 4名） ベトナム語教室：和地公民館（児童 26名 スタッフ 4名）
「まなびっこ」	瑞穂小、江南中、北部中、浜北北部中
「日本語派遣」	湖東中、南部中

文化庁委託業務

「外国につながる子どもたちのための日本語教育(JSLを含む)支援者実践的養成講座」

これは、文化庁が「日本国内の定住外国人が生活のために必要な日本語能力を習得できるような取り組みを支援し、多文化共生社会の基盤作りに資する」ことを目的に行っている委託事業です。

① 日本語教室の設置 ② 日本語指導者養成 ③ ボランティアを対象とした実践的研修教室

3つのジャンルが対象としてありました。

TOMO2では、このうちの②に応募することにし、田中恵子事務局長、大倉玲子指導員（元城教室）、青島晴己指導員（元城教室）を中心に企画書と予算書を作成し、文化庁に提出しました。5月に採択通知をいただき、9月から2月までの講座の実施が決定いたしました。30名定員のところ50名以上の応募があり、抽選の結果32名の講座生で9月12日より開講しております。

文化庁委託業務「外国につながる子どもたちの日本語教育(JSLを含む)支援者 実践的養成講座」		
日付	内容	担当(敬称略)
1 H 21年 9月12日	浜松市における外国につながる子どもたちが置かれている現状 外国につながる子どもたちへの教育支援の現場から	浜松市教育委員会 学校教育部 指導課 課長 石川 和男 浜松市外国人子ども教育支援推進委託事業事務局 事務局長 田中 恵子
2 9月26日	JSLカリキュラムの理論と日本語指導への生かし方	早稲田大学大学院 日本語教育研究科 准教授 池上 摩希子
3 10月10日	基礎学習教室「まなびっこ」におけるJSLの実践 小学校教諭としての日本語指導	基礎学習教室「まなびっこ」指導部長 平野 伊子 浜松市立 遠州浜小学校教諭 櫻井 敬子
4 10月24日	第2言語としての日本語指導	静岡大学 交流センター 准教授 袴田 麻里
5 11月7日	日本で育っていく生活者としての外国につながる子どもたち	静岡文化芸術大学 国際文化学科 准教授 エウニセ アクミ イシカワ
6 11月21日	言語習得とJSL児童生徒への日本語指導	東京外国語大学 留学生日本語教育センター 教授 伊東 祐郎
7 12月3日 H 22年 12月3日(木) 小学生対象 1月15日(金) 中学生対象	日本語教室「はまっこ」見学	日本語教室「はまっこ」指導員 及び教材研修部長 大倉 玲子 浜松市外国人子ども教育支援推進委託事業事務局 事務局長 田中 恵子
8 H21年 12月5日	母国語教室「まつっこ」見学 ポルトガル語教室	母国語教室「まつっこ」指導部長 田村 エリザベス 浜松市外国人子ども教育支援推進委託事業事務局 事務局長 田中 恵子
9 H22年 1月16日	子どもに日本語を教える工夫とコツ	日本語教室「はまっこ」指導員 及び教材研修部長 大倉 玲子
10 1月30日	開発教材(ポケットカード)による動詞の教え方 -会う・会います・会わない・会って-	日本語教室「はまっこ」指導員 及び教材研修部長 大倉 玲子
11 2月13日	家族で通う地域日本語教室 子どもと大人の教え方の違い 地域密着型日本語教室の紹介	もうぶ日本語研究会 代表 小林 節子 磐田国際交流協会 地域日本語教室「西貝教室」代表 大場 睦子
12 2月27日	振り返りとまとめ	早稲田大学大学院 日本語教育研究科 准教授 池上 摩希子 浜松市外国人子ども教育支援推進委託事業事務局 事務局長 田中 恵子

まつっこ合同発表会・修了式

平成 21 年 3 月 14 日（土）あいホールにて、ポルトガル語教室、スペイン語教室、ベトナム語教室合同の発表会が行われました。ブラジルの州と州都を掲示していくパズル、スペイン語の劇、ベトナムの民族舞踊などのプログラムで、会場一杯の父兄共々楽しみました。

今年度は平成 22 年 3 月 13 日（土）U ホールで行う予定です。



ブラジルの州都を披露する子どもたち



にわたりのダンス『キキリキ』



お母さん手づくりのベトナムの衣装で

総 会

平成 21 年 5 月 31 日（日）、U ホールにおいて平成 21 年度総会が開かれ、今年度の活動計画、予算などが承認されました。

勉 強 会

「基礎作文指導の勉強会」が菊池さんを中心に、「読む力の勉強会」が絹村指導員を中心に作られました。

教材サポーターチーム

今年度は、研修部のサポートを数名の方にお願いました。教材研究、教材作製を担当していただいています。

ホームページの開設

NPO TOMO2 のホームページが開設されました。
[Http://www.ac.auone-net.jp/~tomo2/](http://www.ac.auone-net.jp/~tomo2/)

バザーの開催

平成 21 年 4 月 20 日（月）、7 月 13 日（月）の全体ミーティング時に、寄付された教材、会員から持ち寄せられた不用品でバザーを開きました。

この収益金は TOMO2 会計に繰り入れさせていただきます。

収益金 4 月 20 日 27,290 円

7 月 14 日 37,260 円

次回は 12 月 14 日（月）の全体ミーティング時に行います。

各教室リーダーから収集時期をお知らせしますので、不用品がありましたらよろしくお願いいたします。

研 修 会

平成 21 年 8 月 7 日（金）、第 1 回研修会「こどもの心の発達について」が、浜松医科大学准教授土屋賢治先生をお招きして開かれました。

第 2 回は以下の日程で開かれます。

日 時：平成 21 年 11 月 9 日（月）14 時～

会 場：天竜川・浜名湖地区総合教育センター

講 師：浜松医科大学准教授 土屋賢治先生

演 題：「第 2 言語と学校生活
—脳科学・精神医学的見地からの理解—」



ナイスパスの寄付

遠州鉄道株式会社より 30 万円分のナイスパスをご寄付いただき、センター校（元城小・浜名高）へ通う児童・生徒が使用していただきました。残念ながら 1 学期間で終了してしまいました。さらなる支援が望まれます。